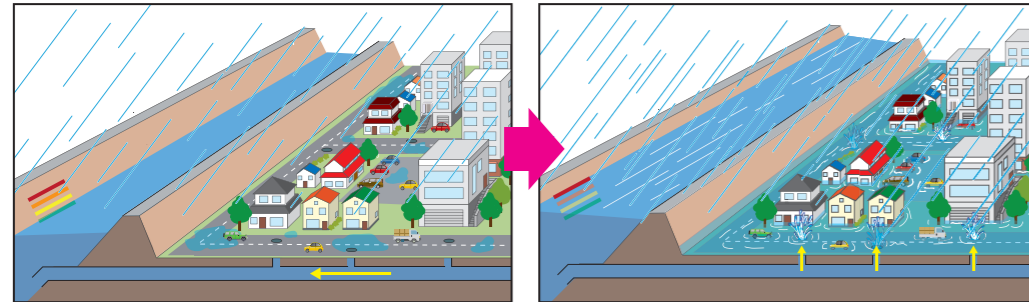


内水ハザードマップとは

- 内水ハザードマップでは、郡山市で近年大きな被害を発生させた雨（時間あたりに74mm、10分あたりに23mm、総雨量101mm）が降った場合に浸水が発生する区域を想定しています。
- 浸水の予想される範囲は、雨の降り方や土地利用の変化などにより、変わることがあります。
- このため、この地図で着色されていない区域でも、雨の降り方によっては浸水する可能性があります、表示の浸水深よりも深くなる場合がありますので注意してください。

内水氾濫のメカニズム

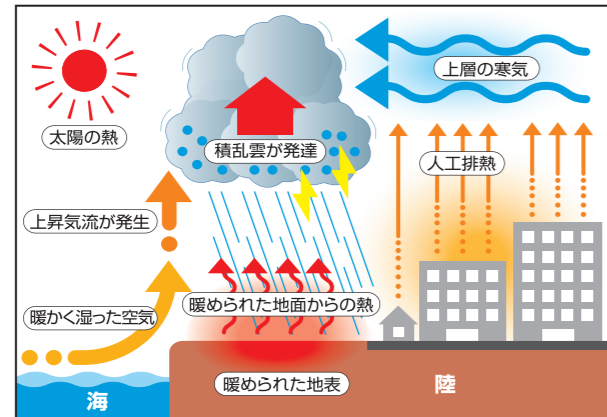
街に降った雨は、下水道管や水路、道路側溝などを流れて河川に排水されます。大雨で下水道管や水路がいっぱいになったり、河川の水位が上昇することで、マンホールや水路の側溝等からあふれて浸水を引き起こします。



非常に激しい雨が降り、地上に雨水が溜まっていきますが、下水道は機能しています。降った雨が下水道の機能をを超えてしまい、地上で浸水が始まります。これが内水氾濫です。

ゲリラ豪雨

ゲリラ豪雨とは、突発的かつ局地的に降る大雨のことを指し、積乱雲が発達することによって起こります。大雨・洪水の注意報・警報が発せられる気象状況でなくても発生し、降った雨が短時間で集中的に低地に集まるなどして、その地域に重大な災害を引き起こす恐れがあります。



ゲリラ豪雨の仕組み

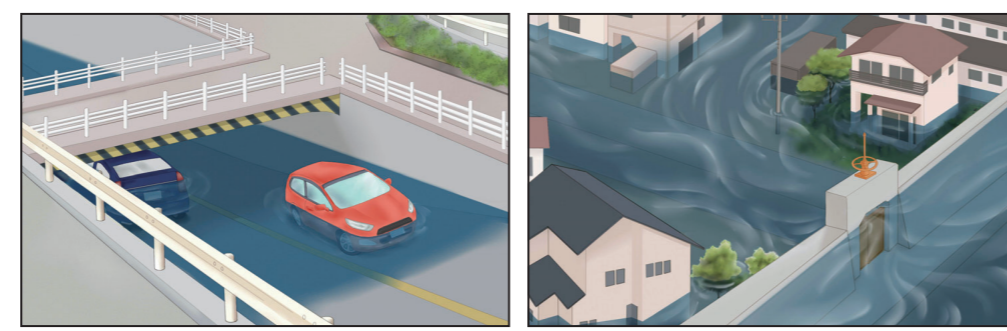
郡山市で大きな被害が出た近年の豪雨災害

■2010年7月6日 ゲリラ豪雨（郡山駅前地区周辺）



アーケード商店街 郡山駅前交番周辺
最大雨量 1時間：74mm/時、10分：23mm/10分（水防郡山雨量計）
被害状況 被害状況 床上浸水：62戸、床下浸水：141戸

予想される内水被害



下水道の機能を越えるほどの大雨が降ると、道路や鉄道のアンダーパスなど土地が低くなっているところに雨水がたまりやすくなります。大きな川の水位が高くなると、樋門の扉を閉め、川から排水路への逆流を防ぎます。そのため住宅側の雨水の行き場がなくなり、浸水することがあります。

郡山市からの情報伝達とさまざまな情報の入手先

わが家の防災ハンドブックも活用しましょう！

郡山市では、市内の災害情報や避難情報などについて、多様な手段で市民のみなさんに、いち早くお知らせします。また、気象庁や国土交通省、福島県の提供する気象情報や防災情報なども確認し、災害に備えましょう。

市からの避難情報・国や県からの洪水予報・気象情報等

郡山市から発信する避難情報等	国・県・報道機関からの情報
<p>郡山市防災ウェブサイト 防災防犯情報として、市や関係機関が発信する気象情報、災害情報、国民保護情報、避難情報、お知らせを掲載する他、防災に役立つ各種情報リンクを掲載しています。</p>	<p>気象庁（福島地方気象台） 天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。</p>
<p>郡山市防災メールマガジン 防災ウェブサイト内の「防災メールマガジン」に登録してください。</p>	<p>国土交通省 川の防災情報・川の水位情報 雨量・河川水位、河川CCTVカメラによる河川の状況が確認できます。</p>
<p>郡山市防災SNS Facebook、Twitterに登録されている方が「いいね！」や「フォロー」していただくことで利用できます。</p>	<p>テレビ（地上デジタル放送）dボタン ご家庭のテレビで確認できます。リモコンdボタンを押すとL字画面に切り変わります。</p>
<p>防災行政無線 市内の小中学校や公民館、公園などに設置した屋外スピーカーから放送を流します。</p>	<p>緊急速報メール NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話に送信されます。※情報は発信時点で市内にいる人に配信されます。また、機種により、設定が必要なものや受信できないものがあります。</p>
<p>郡山市電話ガイダンス 災害情報を新着順に電話でお知らせします。 災害情報専用電話 ☎024-924-2211</p>	<p>コミュニティFM放送 「郡山コミュニティ放送（ココラジ）」から放送します。 周波数・・・FM79.1MHz ※番組放送中でも強制割込みで災害情報をお知らせします。</p>

郡山市民のみなさん 情報収集

タイムライン防災（警戒レベルとみなさんがとるべき避難行動）

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わりました。

◎災害が発生する前に、タイムラインを確認して早いうちから避難の準備をしましょう。警戒レベル3や警戒レベル4に相当する防災気象情報や避難情報が発表された場合には、安全・確実に避難をしましょう。警戒レベル5に相当する情報が発表された場合には、命を守る最善の行動をとってください。

警戒レベル	みなさんがとるべき行動	市が出す避難情報	国・県・気象庁からの防災気象情報
警戒レベル5	既に災害が発生している状況であり、 命を守るための最善の行動 をとる。 	災害発生情報	警戒レベル5相当情報 ● 氾濫発生情報 ● 大雨特別警報 等
警戒レベル4 全員避難	指定避難所・指定緊急避難場所等へ速やかに避難する。 災害が発生するおそれが極めて高い状況 であり、急いで避難が必要です。 	避難指示（緊急） 避難勧告	警戒レベル4相当情報 ● 氾濫危険情報 ● 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	高齢者等支援の必要な方は立退き避難を開始 する。その他の方々は立退き避難の準備をし、自発的に避難を開始する。 	避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル3相当情報 ● 氾濫警戒情報 ● 洪水警報 ● 大雨警報 等
警戒レベル2	避難に備え、自らの避難行動（避難場所や避難ルート）を再確認する。 	台風情報	● 氾濫注意情報 ● 洪水注意報 ● 大雨注意報等
警戒レベル1	最新の気象情報に注意し、災害への心構えを高める。 	台風情報	○ 早期注意情報（警報級の可能性）

※内水ハザードマップ（ゲリラ豪雨）では、建物の上階に避難する「垂直避難」を促しており、避難所の位置は示していません。避難所の位置は「郡山市防災ウェブサイト」で確認できます。

郡山市防災ウェブサイト

雨の降り方と周囲の状況

気象庁では、気象予報の用語を統一しています。雨の強さの程度を知っておき、避難行動に役立てましょう。

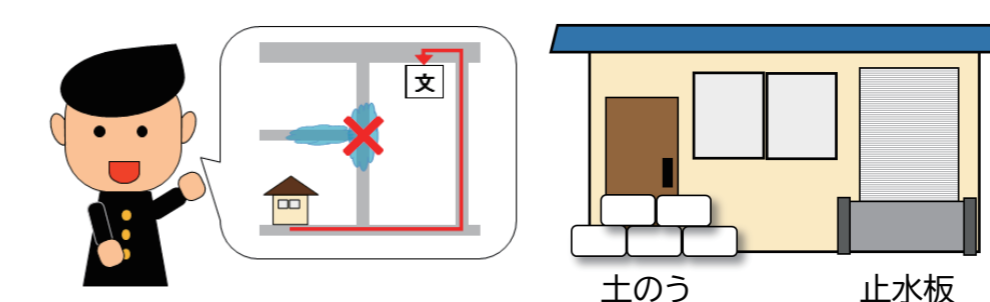
	猛烈な雨 1時間に80mm～ 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
	非常に激しい雨 1時間に50-80mm 滝のように降る。寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。
	激しい雨 1時間に30-50mm バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。
	強い雨 1時間に20-30mm どしゃ降り。傘をさしていてもぬれる。

（出典：気象庁 雨の強さと降り方）

日頃からの備え

◎日頃から、浸水しやすい箇所を確認しておきましょう。通勤や通学など、普段使う道に浸水しやすい箇所があるか確認しましょう。ゲリラ豪雨時は、浸水しやすい場所を避けて通らしましょう。

◎土のうや止水板を準備しましょう。自宅等の浸水を軽減するため、土のうや止水板を準備しましょう。



ゲリラ豪雨時は高い場所へ避難しましょう

◎ゲリラ豪雨などの短時間集中豪雨の際は、外出を控え、建物の上階に避難しましょう。

◎道路や鉄道のアンダーパスでは浸水深が大きくなりますので、通らないようにしましょう。



郡山市の取り組み

◎ゲリラ豪雨等による浸水被害を軽減するための、郡山市の取り組みを紹介します。

■土のうの配布
希望者へ市が無料で土のうを配布します。
<問い合わせ先>
下水道局下水道保全課 電話024-932-7663
道路維持課 電話024-924-2301

■止水板設置等工事費補助金
住宅、店舗、事務所等に止水板を設置する方に対し、補助金を交付しています。
<補助金の額>
工事費の2分の1の額。一つの建物につき30万円を限度。
<問い合わせ先>
下水道局下水道保全課 電話024-932-7663



■雨水活用補助金制度
雨水の流出を抑制する施設（雨水貯留タンク、浄化槽用雨水貯留施設、雨水浸透ます）を設置する方に対し、補助金を交付しています。
<補助金の額>以下のとおり。

施設区分	補助割合	限度額
浄化槽用雨水貯留施設 埋設型雨水貯留施設	工事費の2/3	25万円（一般住宅） 40万円（事業所等）
浸透ます（4基まで）	工事費の2/3	2万5千円（1基あたり）
地上設置型雨水貯留タンク	購入費の2/3	4万円

<問い合わせ先>
下水道局お客様サービス課 電話024-932-7666

